

## 第 31 回 地下空間シンポジウムおよび現場見学会

### 「 地下インフラは大丈夫か！！ ―老朽化する地下インフラの未来を考える ―」

行事コード：542503（CPD 対象プログラム）

略称：31 回地下空間シンポ

●日 時 ――― 2026 年 1 月 23 日（金）9:30－17:30

●開催方法 ――― 対面及びオンライン（Zoom）のハイブリッド開催

●開催場所 ――― 土木学会会議室並びに講堂

●概 要 「地下空間研究委員会」では、健全で豊かなゆとりのある地下空間を創造するために、土木工学のみならず、都市計画、建築、法律、医学、心理学、福祉、情報管理、さらには芸術、経済学の分野までもを包含・総合化した“地下空間学”の確立を目指した研究活動を続けており、一年の調査研究活動の集約の場として毎年シンポジウムを開催しています。このシンポジウムでは、地下空間利用に関する計画、防災、維持管理、環境、心理、空間デザイン、情報、普及など幅広い問題にわたり意見・情報交換を行い、建設的に充実した議論を行って参りました。

今回は第 31 回目の開催であり、「 **地下インフラは大丈夫か！！ ―老朽化する地下インフラの未来を考える―**」をテーマに開催いたします。

多くの社会インフラがその建設以来半世紀を超え、長いものでは 100 年に迫る期間にわたり市民生活に密接に溶け込み、無くてはならない物となっています。これらはまるで「空気」のような存在で、あつて当たり前、この先もずっとそのまま当然のように存在し続ける物だと思われているのです。しかし今この「当たり前」が危機を迎えようとしています。そして「今」がこの危機を乗り越える最後の機会と言われています。

そのような中、2012 年 12 月 2 日に中央自動車道笹子トンネルの天井版が崩落し、多くの犠牲者が発生しました。これ以来行政主導で社会インフラの健全性の把握が叫ばれるようになり、構造物の調査や維持修繕工事が進められています。土木学会でも「インフラ健康診断」による多くのインフラの状況把握が行われ、種別ごとに健全性の把握や維持更新に向けた提言がなされ、数多くの課題も指摘されています。

さらに 2025 年 1 月 28 日に埼玉県八潮市の県道の陥没事故が発生し、1 台のトラックが巻き込まれ、運転手が犠牲となりました。その後も全国各地で地下埋設物の破損に起因する大規模な陥没や出水が頻発しており、改めてインフラ、特に普段直接目にすることができない地下インフラの健全性と持続可能性について大きくクローズアップされ、土木学会もこれに対し一丸となり取り組む方針を示しています。

地下インフラは、都市部では種類、位置、深度など非常に複雑に配置されており、その数量もきわめて膨大であることによりその状況を把握することが非常に困難になっています。また都市部に限らず地方の隅々にまで張り巡らされていることを考えると、それを全て把握し今後も継続して使用するためには膨大な人員、費用、期間が必要と考えられ、このままでは現在の機能を維持することが非常に難しい状況となりつつあります。しかしこれらは市民生活と密接に結びついており、機能の維持に向けた多くの知恵を出して対応することが求められます。一方これらの事柄について一般市民がその状況を認識しているかは疑問であり、このことが問題をより複雑化しています。

今回のシンポジウムでは、関係する様々な分野から専門の方々に集まって頂き、一般社会は地下インフラについてどのように理解しているかを把握し、地下インフラが機能を損なうことなく今後も維持され、市民生活の確保や我が国全体の経済活動に支障なきよう今後も機能し続けさせるためには、我々土木技術者が何をなすべきか、土木学会の役割は何かを議論しつつ、未来に向けた地下インフラをどのように存続させるのかを議論してまいりたいと考えています。

●主 催 ――― 公益社団法人土木学会（担当：地下空間研究委員会）

●後援（予定）―― 国土交通省、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本都市計画学会、公益社団法人地盤工学会、一般社団法人資源・素材学会、一般社団法人日本応用地質学会、一般財団法人エンジニアリング協会、都市地下空間活用研究会、一般社団法人岩の力学連合会、一般社団法人建設コンサルタント協会、全国地下街連合会、一般社団法人日本建設機械施工協会、一般社団法人全国建設発生土リサイクル協会

## ●プログラム

【午前の部】 9:30~12:00 ハイブリッド開催（対面及びZoom）

- ・3会場にて論文発表

【午後の部】 13:15~17:30 ハイブリッド開催（対面及びZoom）

- ・委員長挨拶
- ・講演論文表彰
- ・基調講演 政策研究大学院大学 特別教授 家田 仁  
テーマ：インフラマネジメントの転換と二つの「見える化」
- ・特別講演 国土交通省総合政策局公共事業企画調整課企画官 祢津 知広  
テーマ：「地域インフラ群再生戦略マネジメント」の推進について
- ・パネルディスカッション

パネリスト：

日本大学理工学部土木工学科教授（地下空間研究委員会委員長）大沢 昌玄

神戸大学院工学研究科教授 鋤田 泰子

東京都下水道局計画調整部長 家壽田 昌司

応用地質（株）防災・インフラ事業部インフラメンテナンスコンサルティング部 部長  
松山 明男

日経コンストラクション編集長 眞鍋 政彦

コーディネータ：

アジア航測（株）社会インフラマネジメント事業部 総括技師長

（地下空間シンポジウム実行委員会 委員長）塚田 幸広

（50音順 敬称略）

【ポスターセッション】 9:30~17:30（ダウンロード対応可）

●参加費 —— 午前の部（論文発表）からの参加者（対面及びオンライン参加とも）

会員 4,000 円（後援団体会員含む）、非会員 6,000 円、学生 無料

午後の部からの参加者（オンライン参加） 無料

●申込方法 —— 土木学会ホームページ (<https://www.jsce.or.jp/events>) からお申し込みください。  
お申込みいただいた方には、1月に「論文集等ダウンロードのID・password」、  
「参加証」、「ZoomのURL」をお送りする予定です。

### \* 申込みに関してのお願い

(1) 申込み締切り前に定員に達している場合がございますのであらかじめご了承ください。なお、締切日以降は受付いたしませんのでご注意ください。

※午前の部の発表者の方は必ずお申込みをお願い致します。

(2) 参加費のお支払い方法につきましては、「クレジットカード決済」及び「コンビニエンスストア決済」による前払いとなります。決済完了後のキャンセル及び変更等による返金はいたしません。また、請求書の発行はいたしません。

(3) 聴講参加の方法は、「午前・午後の部【オンライン参加】」、「午前・午後の部【対面参加】」、「午後の部【オンライン参加】」をお選びいただけます。

※論文発表者、論文聴講者は「午前・午後の部【オンライン参加】」、「午前・午後の部【対面参加】」のいずれかを選択下さい。

※オンラインで論文発表される場合、接続確認、プレゼンテーション資料動作  
確認を実施いただける日程を設定する予定です

(希望者のみ対象です。日程は別途連絡させていただきます)

- 定 員 —— 午前・午後の部とも【オンライン参加】：800名（先着申込順）  
午前部・午後部【土木学会での対面参加】：60名（先着申込順）

- 申込締切 —— 2026年1月16日 17:00

●見学会

本年度の現場見学会は諸事情により見送りとなりました。

- 問合せ先：土木学会 「地下空間シンポジウム」担当：飯野 実

TEL 03-3355-3559 E-mail : [jsce\\_ousrsympo@jsce.or.jp](mailto:jsce_ousrsympo@jsce.or.jp)

- 詳細：地下空間研究委員会ホームページ (<http://www.jsce-ousr.org/>)